

# KAWASAKI KEIBA Race Horse Owners News

川崎競馬 馬主協会ニュース No.39

発行 令和元年 10月 25日  
発行者 一般社団法人 神奈川県馬主協会  
会長 加藤 豊三  
〒210-0011  
神奈川県川崎市川崎区富士見1丁目5番1号  
TEL.044-246-5050

ご挨拶



一般社団法人 神奈川県馬主協会  
会長 加藤 豊三

会員の皆様におかれましては、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、川崎競馬の現況と当協会の活動をご報告します。

## (1) 売得金のさらなる増額

川崎競馬は、競馬組合並びに競馬サークルの皆様の平素の経営努力の結果、売得金は史上最高額の昨年度の709億円を上回る勢いで、今年度は、770億円を達成できる見込みと聞きました。

## (2) 会員数の増加

私が、会長に就任した9年前の約290名から現在499名(令和元年10月1日付け)に会員数が増え、今期中には、500名の大台になる趨勢にあります。これら会員数の増強は、馬主皆様の川崎競馬に対する熱い思いの賜物です。

## (3) 賞金及び手当等の増額予算交渉

当協会理事会では、新年度の当協会予算について、会員の皆様の負託に応え、将来的な目標として、内きゅう舎の在きゅう馬だけで競馬開催が可能とするべく努力してまいります。

従前から競馬組合と話し合いを重ねてきました、小向きゅう舎の有効活用と充実を図るため、練習馬場の整備につきましては、実現する運びとなりました。

36億円と言う累積赤字を抱えた時代には、馬主協会予算は、極めて低水準を余儀なくされ、会員に対するサービスも実現できずにいました。馬主経済に貢献できることを目標に、予算交渉を進め、運営費の増額も要求するとともに、川崎競馬の2歳戦の賞金を大井競馬に近

付けないと、2歳・3歳の重賞競走において、川崎在きゅう馬が不利な状況に置かれるため、賞金格差で重賞競走出走に不利益が出ないように要求します。

また、新馬購入補助や競走馬事故共済補助についても、さらに拡充して算要求してまいります。

## (4) 公正競馬の確保対策

地方競馬での禁止薬物陽性場摘発を受け、当協会は、小向きゅう舎に監視カメラを各きゅう舎に設置を要求したところ、193台の監視カメラの設置が年度内に実現されます。

## (5) きゅう務員の確保対策

地方競馬の緊急の課題である「きゅう務員の確保」のための対策を速やかに講じるべきと考え、理事会で何度も協議し、川崎競馬の持続的発展のため、当協会は、昨年度、きゅう務員の社会保険制度導入を提言し、今年度、実現に至りました。また、きゅう務員の住宅環境が整っていないことから、低廉で清潔な住居の提供を要求し、競馬組合と施設会社のよみうりランドのお計らいで、小向きゅう舎地区に6階建て150戸のきゅう務員宿舎が建設されることとなりました。併せて、老朽化した馬房を建て替え、新たな馬房も整備されることとです。

先日、日本地方競馬振興協会の正副会長として笠松競馬場を視察した際に、同競馬場のきゅう務員ひとり当たりの担当馬数が5.5頭であると聞きました。施設に目をやれば、JRA出張馬房は管理が行き届いた建物でしたが、笠松競馬場の馬房は老朽化し、建て替える必要性を感じ、地方競馬の再生のための財源確保が、速やかに検討されるべきと思いました。

終わりになりますが、会員の皆様の平素からの当協会の活動に対するご理解ご協力に対し、当協会役員を代表して敬意を表すとともに、会員の皆様の愛馬の一層のご活躍並びにご健勝、ご多幸をひとえにご祈念申し上げます。

## 「川崎S1レース戸塚記念は、ヒカリオーソが優勝！」

9月4日に川崎競馬場で行われた戸塚記念(2100m)は、地方競馬3歳秋のチャンピオンシップの一戦として、昨年からの南関東S1レースに格上げされました。

ここでは皆さんもご存じのように、山崎誠士騎手がエスコートした岩本洋厩舎生え抜き馬のヒカリオーソが優勝(馬主 西森鶴様、生産 ヒカル牧場様(新冠)) ヒカリオーソ、関わってこられた全ての皆様、おめでとうございました!



地元で重賞レースだからこそ、地元・川崎馬が勝って欲しい……。そんな思いは様々な関係者から伝わってきて、ヒカリオーソが枠場に帰ってくる時に、厩舎関係者はもちろんのこと主催者たちも笑顔で迎えていた姿が印象的でした。川崎勢、8年ぶりの戸塚記念の肩掛け姿。

レースを振り返ると、ヒカリオーソは好スタートを切って道中2番手から。レースが動いたのは3コーナー手前からで、他馬が動き出すと、ヒカリ

オーソも譲らずに先頭へ立ち、最後の直線では二枚腰を發揮して後続馬の追撃を振り切りました。2100m 2分16秒3(不良)。

「厩舎の皆さんが一生懸命仕上げてくれたので、少し間隔は空きましたがそれを感じさせないようなすてきな仕上がりがだったので、自信を持って乗りました(担当は小林厩務員、調教パートナーが甲斐厩務員)。テンよし、中よし、終いもしっかりしているし、特に癖もなく乗りやすいので、オールマイティーな馬です。強かったですね」(山崎騎手)。

ヒカリオーソの父は地方競馬の希代なる名馬フリオーソ。母のヒカリヴィグラスと祖母マイムーンも南関東で走り、祖母の姉に笠松の女傑ライデンリーダーがいるという、地方競馬にゆかり深い血統です。全国各地でフリオーソ産駒は大活躍していますが、南関東で最初に重賞を勝ったのも、父が果たせなかった東京ダービーの称号を手にしたのも、孝行息子のヒカリオーソです。

父と息子は栗毛という共通点はあるものの、体系的にはタイプが違います。しかし、父がいつもゴール板まで真面目に一生懸命走り抜いた根性を、息子も受け継いでいるように思います。見続ける喜びや楽しさを、改めて感じています。

高橋華代子



地方競馬全国協会が主催する年間企画フォトウマコンテストの「夏うま」の受賞者が発表になりました。

8月1日～8月20日に実施されたSNS投稿企画「夏うま」のテーマは『夏うま&厩務員! 彼らはベストパートナー』で、フォトコンテストだけでなく地方競馬ベストターンアウト賞も決定します。

まずは、応募作品700点以上の中から審査員の小堺翔太氏がシーズン賞を選出。選ばれた優秀作品は佐藤博紀厩舎のブースター(牝4)を引く成瀬永美厩務員と佐藤里美厩務員のショットでした!

ブースターは佐藤博紀厩舎所属で、名古屋から移籍すると破竹の7連勝。受賞作品は8勝目を挙げた時におさめられたものです。

審査員の小堺さんの選出ポイントは「笑顔」だそうです。

「まずは笑顔に惹かれました。左の方は満面の笑みで、右の方は馬を優しく触りながら笑顔の写真を。馬も自分が勝ったことをわかっているような表情をしていますよね。競馬が勝負の世界だと一瞬忘れられるようなあたたかい写真です」と選考理由をあげていました。

撮影者はりり様。さっそく喜びの声をいただきました。

「いつも応援していたブースターの勝利と、関係者の喜びの表情の両方をおさめることができた写真で受賞できて最高に嬉しいです。その日はたまたま仕事が休みで偶然勝った瞬間を撮ることができました。普段からなるべく馬だけでなく騎手や厩務員さんと一緒に撮るようにしています」。

りり様にはシーズン賞の副賞として、大好きな地方競馬場までの交通費支給(ペア)+当日の個人協賛レース命名権付与(1レース)+当日の指定席券(ペア)が贈られます。また、成瀬厩務員と佐藤厩務員には受賞記念

ジャケットが贈られます。



シーズン賞受賞作品

そして、ベストターンアウト賞は厩務員の仕事ぶりが評価される誇らしき賞。ターンアウトには「身なりを整える」「正装をする」といった意味があり、『最もよく躰けられ、最も美しく手入れされた出走馬を担当する厩務員』の努力を称え表彰する制度。世界の主要G1レースにおいて実施されています。

日本一の相馬眼を持つとされる生産者の代表の岡田繁幸さんが審査して決定。岡田さん着眼点は「明るく楽しそうに仕事をしているか」「馬への愛情を感じるか」。審査では人馬の信頼関係がしっかり構築されていることも重要な評価ポイントになります。

栄えあるベストターンアウト賞川崎競馬場賞を受賞したのは山崎裕也厩舎の松本美寿厩務員とフェアウェザー(牝2)の新馬戦のバドックショット。松本厩務員はキャリア5年。北里大学獣医学

部出身で、卒業と共に山崎裕也厩舎で厩務員になった熱き才女です。「まだ新米ですが強い馬づくりをしていこうと努力する日々です。これからは、中央の馬に負けたくない馬も人も磨きをかけて、お客さまの前を胸を張って歩ける強い馬づくりをしていきたいと思います」と喜びの声。地方競馬の厩務員にとって励みになる受賞です。

撮影者はダンナ様。

「お気に入りの川崎競馬場でベストターンアウト賞に選出されると嬉しいですね。酷暑の中、競走馬はもちろん、厩務員さんも大変だったと思います。それが2歳新馬戦であれば尚の事。その新馬戦のバドックで競走馬とダンスを踊るのようステップを合わせて歩いていた姿を写真に収めました」写真を撮る側も応援する気持ちを込めてシャッターを押しているのですね。

フォトウマコンテストでは、現在「秋うま」

を募集中。応募期間は9月9日～11月8日までで、テーマは「食欲の秋、成長の秋、目指せJBC競走」です。カメラ片手に全国の地方競馬場へ出かけてみてはいかがでしょうか?

中川明美



ベストターンアウト賞受賞作品

## 川崎競馬秋まつり 2019

令和元年10月5日土曜日に、「川崎競馬秋まつり2019」が開催され、当協会も実行委員会のメンバーとして参加しました。このおまつりは、地域の皆様と競馬ファンの皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、川崎競馬への理解をより一層深めていただくことを目的として、開催するものです。当日は、10月とは思えない猛暑日の中でしたが、10,700名の方々にご来場いただき、賑わいのある1日となりました。当協会は、「ミニチュアホースとのふれあ

い」と「妖怪ウオッチショー」を担当し、多くのこども達とご家族に楽しんでいただきました。

チャリティーオークションでは、騎手服や重賞競走優勝記念ポロシャツ並びに競走馬のゼッケン等が出品され、263,000円の売り上げとなり、この収益金は、令和元年台風15号により千葉県で被災された方々に贈られるということです。

こういった催しを通して、川崎競馬場も、競馬ファンのみならず地域の方々等に愛され、単なる公営競技場ではないレジャー施設になってきたと感じました。





# 金子正彦の Jockey Life ジョッキーライフ

## ■ Jockey Life ～山林堂信彦騎手～

金子正彦元騎手が聞く川崎ジョッキーズの素顔。

Jockey Life インタビューの第4回にご登場いただくのは山林堂信彦騎手。神奈川県騎手会では副会長として今野忠成会長の右腕となって尽力しています。

【金子】 ずいぶん遅くまで調教に乗ってるね。相変わらず朝も早そうだね。

【山林堂】 朝は2時半から。今は18頭くらいなのでずいぶんラクになりました。一番やっていたときで27頭やっていたから。今は調教は9時半までと決められているし、午後乗りも許可が必要なのでしているところはないですね。

【金子】 山林堂っていうのは珍しい名字だね。

【山林堂】 平家の落ち武者だと聞いてます。福島の本松の山の中で隠れて暮らしてた。

【金子】 馬とは何か関係があったの？

【山林堂】 祖父さんは大田区で工場を経営してたし、親父は会社員。

馬とは縁のない環境で育ちました。

【金子】 騎手になるきっかけはなんだったの？

【山林堂】 小さい時に家族で出かけた先で馬を見て、乗ってみたいと思ったのが最初。テレビで暴れん坊将軍を見て、ますます乗ってみたいと思うようになった。

ライスシャワーが走ってた頃かな。テレビで競馬を見て騎手に憧れるようになった。その頃は中央競馬の存在しか知らなくて、騎手試験を受けたら二次まで行って落ちた。もし一次の時点で落ちていたら諦めてたと思うけど、中途半端に二次試験までいったことで翌年もチャレンジする気になって。高校に行きながら秦野国際乗馬クラブに通ったんですけど結局は落ちました。

あきらめてたら、親父から地方も受けてみるかと言われて。

【金子】 鈴木敏一調教師との縁だったと聞いたけど。

【山林堂】 (鈴木) 敏一先生を紹介してもらってお願いに訪ねたら、うちは(今野) 忠成がいるから、もう弟子は取らないと言われた。そこにちょうどドルフィンボーイの記念ジャンパーを佐々木国広調教師が



撮影：真鍋元

届けに来て、おまえのところどうだ？って話になって所属が決まりました(笑)

だから勝負服も井上宥蔵一門の星散らしの柄を希望したんだけど、通らなくて、今の色柄に。

【金子】 騎手になって22年か。いろいろあったね。

やめようと思っていたのも見てきた。

【山林堂】 何回もありました。

もうやめよう、もうやめようと、34歳の時には引退届も書きましたし。世の中の就職先の募集が35歳までというのが多かったんで、やめるなら今だと本気で考えた。

これ以上やっても乗り馬は増えないし、勝てる馬にも乗れないし、調教師っていう柄でもないしと悩んで馬関係から離れようと思った。

引退届も書いて全部書類を揃えて出したんだけど、当時、副管理者だった川崎泰彦さん(現NAR理事)から電話が掛かってきて「受け取れない」って引き留められた。

そしたら、池田孝調教師から電話かかってきて、今からすぐ家に来てって言われて、いろいろ話して考え直して今に至ります。

【金子】 さんちゃんにとって池田調教師の存在は大きいね。

【山林堂】 逆らえない絶対的存在ですね。佐々木厩舎に入った頃は池田先生はまだ厩務員だったんですけど、自分にとっては馬乗りを教えしてくれた人。馬のことを一番よくわかっている人です。

佐々木先生が亡くなって開業した池田厩舎に所属しましたが、一時はぶつかって離れた時期もありましたが、今はまた所属騎手であり、今でも教わることが多いです。

【金子】 癖馬を任されることも多かったよね。

さんちゃんのおかげで競走馬になれた馬も多いと思うよ。

【山林堂】 僕だって癖馬は嫌ですけど、最初の頃、池田先生が僕を一人前にしようと癖馬にどんどん乗せた。先のことを考えてくれたんだと思う。愛のあるしごきですね(笑)

【金子】 他の騎手が乗りこなせない馬を動かすんだから、乗りこなしていけば自信になっていくよね。癖馬に乗るわりに、そうケガもしないよね。コツでもあるの？

【山林堂】 感覚的なものですね。身体が勝手に反応してる。ここで叩いてはいけないとかわかる。

レースではスタート直後以外は一度も落馬してしていないんですよ。競馬で落ちたら痛いでしょ。怖がりだから、なにかあるかもしれないいろいろな考えを巡らして乗ってる。

【金子】 昨年くらいから調子いいよね。連勝馬もいるし、すごく落ちていて乗ってるように見える。

今年が一番人気の馬に19回騎乗して14勝。2着3回だから連対率は89.5%。すごい！

去年が一番人気の馬に6回しか乗ってなかったのにね。

【山林堂】 ビヨンドボーダーズ(林隆之厩舎)という馬で連勝した辺りから流れがよくなったのかな。船橋記念では2着しましたし。

【金子】 ブースター(佐藤博紀厩舎)が川崎に来て7連勝したうちに6勝はさんちゃんの手綱だね。ブースターのレースを見ていると、一頭になるとフワッとするような難しさを感じるけど。

【山林堂】 中央から名古屋を経由して来た馬で、力はあるんだけど難しい面がありますね。

転入戦は道営の落合騎手が乗って勝ったんですけど3、4コーナーで外に行っちゃった。自分で乗ってみてもそういう面があったんで気をつけて乗ってます。

テンが速すぎるから行くかたちになってしまうんですが、一度、出遅れてハナの後ろで競馬した時があって、あれが1番いいレースだった。そろそろ抑える競馬ができるかもと考えています。

Aクラスまで行ってほしいし、重賞にも挑戦してほしいですからね。

【金子】 人気ある馬をキッチリ勝たせるって難しいよね。周囲からマークされるし、自分から動いていかないといけない。

まして、さんちゃんは課題がある馬を矯正して勝つまでにもっていくわけだから。

【山林堂】 勝ったら勝ったで走る馬だから当たり前って思われるのは

つらいです。

【金子】 ジョッキー

は身体の維持も大切だけど、その筋肉、昔からすごいよね。ボディビルダーみたいにムキムキだもんね。腕相撲しても腕っぷしは川崎で一番強い。

【山林堂】 最初に池田先生に鍛えられたことが大きかったんだと思います(笑)。騎手候補生の厩舎実習の頃から、引っかかる馬を普通に併せ馬で乗ってこいって言われて、必死にやっていた筋肉です。実習明けには体型が変わってました(笑)

【金子】 今でもかなりの頭数を調教してるから維持できてるんだろうね。

平日はレース乗って、休みの日には乗馬クラブに乗りに行っていたこともあったよね。さんちゃんは馬が好きなんだな～と思ってみてたよ。最近、休みの日はなにしてるの？

【山林堂】 同じ馬でも乗馬と競馬では使う筋肉がぜんぜん違いますからね。面白いけど筋肉痛になる(笑)

あまり休みはないんですけど、子供と遊びに行きますね。

最近では柴犬を飼い始めました。

【金子】 息子はもう12歳だね。ジョッキーになりたいって言い出したりしない？

【山林堂】 テニスを習っているけど、あまりスポーツは得意じゃないみたいで(笑)

夏休みに池田厩舎で手伝わせようとしたんだけど椅子に座ってアイス食べてました(笑)

【金子】 さんちゃんが副会長になって何年になる？

【山林堂】 山野(勝也)さんが引退して引き継いだかたちだから、もう10年になるのかな。

副会長になったのは競馬全体の景気が下がっていた頃で大変なこといろいろありましたけど、今は調整ルーム手当や着外手当などだいぶ改善してきている。

来年には調整ルームも新しくなります。

【金子】 攻め馬もレースもこれだけ乗っていると忙しいけど充実してるよね。この夏で41歳。これから先のことは考えているの？

【山林堂】 まだしばらくは乗りたいですね。

一時は調教師補佐への転向も考えたけど、今はもう少し乗りたい気持ちの方が強い。

22年間をふり返るとつらいことの方が多かったけど、途中でやめなくてよかったと今は思います。

あの時、川崎さんが引退届を突っ返してくれて、池田先生が説得してくれて本当によかったと感謝しています。

【金子】 苦勞を乗り越えた頼もしい副会長！これからも川崎競馬のことをよろしく願います。

\* 10月20日、盛岡・OROターフスプリントで見事重賞初制覇。やったね、さんちゃん！



★金子正彦プロフィール  
1962年11月12日神奈川県出身。  
1979年11月19日の騎手デビューから16,482戦1,227勝を挙げ2017年3月に引退。重賞勝ちは東京ダービー(サイレントスタメン)、浦和記念(モエレトレジャー)、桜花賞(ミライ)、ハイセイコー記念(ソルテ)など11勝。現在は競馬専門紙等でコラムを執筆している。

## 令和元年新馬戦優勝馬

(※敬称略、9月開催まで)

### 関係者の皆様

おめでとうございます！

出走日	馬名	父母	馬主	厩舎	騎手
R1.5.17 1R	ゴールドホイヤー	トランセンドベルグホルカ	岡田初江	岩本洋	阪上忠匡
R1.5.17 2R	カネトシマックス	ヴィットリオピエロ	兼松昌男	佐々木仁	櫻井光輔
R1.5.17 3R	ヴァケーション	エスポワニルシチー	大岸昌浩	高月賢一	矢野貴之
R1.6.14 1R	ダンディーヴォーグ	ヴィットリオピエロ	志村幸彦	内田勝義	町田直希
R1.6.14 2R	コガラスマル	クロフネラエイズ	山口裕介	高月賢一	左海誠二
R1.6.14 3R	ゴールデンオパール	ノーザンリバーアップルトウショウ	日本スタンダード(株)	岩本洋	櫻井光輔
R1.7.5 3R	アラガール	シニスターミニスター	石井輝昭	林隆之	笹川翼
R1.7.5 4R	ルイドフィーネ	サウスヴィグラス	吉田晴哉	内田勝義	赤岡修次
R1.7.5 5R	トキノソミ	フリオーン	田中準市	八木正喜	櫻井光輔
R1.7.23 4R	ハーモニーヴォルト	ヘネーヒューズ	日下部勝徳	高月賢一	森泰斗
R1.8.6 4R	ワタリフレーム	トゥザワールド	阿部作次	佐々木仁	藤本現暉
R1.8.6 5R	ミナミン	スビルバーク	井手慶祐	内田勝義	赤岡修次
R1.8.23 5R	グリーンロード	オルターネイティブ	鈴木雅俊	高月賢一	森泰斗
R1.9.6 1R	アークトラッシュ	トビーズコーナー	米津佳昭	山田質	笹川翼
R1.9.6 2R	ルナクレスタ	カズノスカレット	梶原哲朗	山崎裕也	山崎誠士



# 南関魂

なんかんだましい  
高橋華代子の南関東競馬



## ～東京ダービー馬ヒカリオーソ、戸塚記念優勝！～

9月4日に川崎競馬場で実施したS1戸塚記念は、山崎誠士騎手が手綱を取ったヒカリオーソ（川崎・岩本洋厩舎）が優勝しました。ヒカリオーソは、馬主が西森鶴様、生産はヒカル牧場様。約2か月ぶりの実戦でしたが、さらにパワーアップしたかのような走り。東京ダービー馬匠巻のパフォーマンスに酔いしれました。通算4つ目のタイトル（平和賞、雲取賞、東京ダービー、戸塚記念）を獲得。



山崎騎手はゴール後に大きくガッツポーズをしました。東京ダービー馬が南関東の戦いに挑むプレッシャーから結果が出せた喜びと、愛する地元の名賞レースを勝った喜びと。コンビを組んだ中で一番緊張したレースだったそうです。



岩本調教師は騎手時代に、1977年の戸塚記念をお父様の岩本亀五郎調教師が管理していたデンタルプリンスで優勝しているそうで、騎手としても調教師としても、同一重賞を制覇するという偉業を達成。

今後のヒカリオーソは古馬の先輩たちに立ち向かっていくことになります。川崎の、南関の代表として、これからも父フリーオーソのようにたくさんの夢と希望を運んで欲しいと思います。ヒカリオーソ、生え抜き馬の大きな存在です。

## ～ナガタブラック & 伊藤裕人騎手、優駿スプリント制覇！～

遡ること、6月25日に大井競馬場で実施された優駿スプリント。3歳馬のスピード自慢達がそろったこの一戦で、生え抜き馬ナガタブラック（川崎・岩本洋厩舎）が差し切り勝ちを収め、重賞初制覇を飾りました。馬主が紙透一雄様、生産は木村秀則様。



コンビを組んだのは伊藤裕人騎手で、デビューから10年での念願の重賞初勝利を飾ったことも大きな話題になりました。「(ナガタブラックは)普段はおっとりしていますが、競馬場へ行くとスイッチがオンになって、競馬では最後までしっかり伸びてくれる馬です」(伊藤騎手)。



伊藤騎手が重賞初勝利を飾ったことは、多くの川崎関係者が喜んでいました。伊藤騎手の人柄はや、これまでコツコツと真面目に取り組んできた姿を間近に見てきたからでしょう。川崎所属騎手の中でも中堅になる伊藤騎手。「後輩に目指そうと思ってもらえる騎手になりたいです」とも言っていて、川崎を背負って立つ1人としても非常に頼もしいです。

## ～新井健児厩舎、出陣！～

川崎競馬場から新しい調教師さんがデビューしましたね。新井健児（あらいけんじ）調教師、大阪出身の39歳。9月3日の川崎6レースで管理馬デニールが初出走で2着。9月10日の浦和4レースで同じくデニール（馬主（株）心頼L.O.P様、生産 藤本牧場様）が櫻井光輔騎手を背に優勝し、2戦目での初勝利を挙げました。



新井調教師がこの世界に入ったのは、競馬好きな高校の同級生がいたこと、菊花賞を優勝したダンスインザダークの末脚に魅了されたことから。

「人馬とも時間に急かされてやってもいいことはないの、これからのんびりやっていきます。時間はかかるとは思います、川崎の騎手みんなと1勝ずつあげたいですね。川崎の調教師として今の目標です」と新井調教師。これからどんな厩舎を作り上げていくのか楽しみにしています！

## ～実習生たちが来ています！～

川崎競馬場には教養センターから騎手候補生たちが実習にきています。写真で説明すると、向かって右側が、福岡県出身の古岡勇樹騎手候補生（ふるおかゆうき、所属・岩本厩舎予定）、向かって左は、神奈川県出身の池谷匠翔騎手候補生（いけたにたくと、所属・内田厩舎予定）です。



競馬場実習は来年1月上旬までの予定なので、初々しい2人を見かけることも多いと思います。このまま順調にいけば、来春デビュー予定ということです。

～次回のコラムでも、川崎勢の明るい話題をいっぱいお届けできることを願っています！～

(文・写真 高橋 華代子)

## ～トキノパイレーツ、スパーキングサマーカップ制覇！～

8月22日にはスパーキングサマーカップが行われ、町田直希騎手がエスコートしたトキノパイレーツ（川崎・八木正喜厩舎）が念願の重賞初制覇を収めました。馬主は田中準市様、生産が川上牧場様。



トキノパイレーツは中央デビュー馬で、ユニコーンSにも参戦した逸材。昨年夏に南関東重賞タイトルを目指し川崎へ移籍したものの、もう少しのところで涙を吞んできましたが、1年後に大きな勳章を手にするようになりました。「やっと勝つことができた……」と、関係者の皆さんがホッとしていた姿も印象的でした。

町田騎手にとっても約5年3か月ぶりの重賞勝利だったそうです。「本当にうれしいですね。まだまだ成長できる馬なので、僕も一緒に成長していきたいです」(町田騎手)。



トキノパイレーツはどのレースも大崩れが少なく、いつも安定して走っています。まだ4歳、これからの南関東重賞戦線において、どんな存在になっていくのでしょうか。



## \* 重賞・特別レース 勝利馬 \*

関係者の皆様おめでとうございます！ \*敬称略、9月開催まで

### 重賞レース 優勝

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R元.6.25	大井	11R	第9回 優駿スプリント(S2)	ナガタブラック	紙透一雄	岩本洋
R元.8.22	川崎	11R	第16回 スパーキングサマーカップ(S3)	トキノパイレーツ	田中準市	八木正喜
R元.9.4	川崎	11R	第48回 戸塚記念(S1)	ヒカリオーソ	西森鶴	岩本洋

### 川崎競馬（特別競走）優勝

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R元.6.10	第3回	10R	露草(つゆくさ)特別B3(三)	サミット	(有)武田興業	平田正一
R元.6.11	第3回	12R	夏椿(なつばき)特別C2(二)	クロヴァージョ	鈴木教弘	河津裕昭
R元.6.12	第3回	3R	紅花(べにばな)特別2歳(一)	ヴァケーション	大岸昌浩	高月賢一
R元.6.13	第3回	4R	鈴蘭(すずらん)特別3歳(一)	トワイライトスカイ	吉岡泰恵	加藤誠一
R元.6.13	第3回	8R	サンライズ特別C1	ブラックスナイパー	大野春男	久保勇
R元.6.13	第3回	11R	川崎スパーキングスプリント	ラディヴィナ	日下部勝徳	高月賢一
R元.6.14	第3回	10R	明治記念大磯邸園特別B2(三)	ウイントリニティー	(株)ウイン	河津裕昭
R元.7.2	第4回	1R	カツマルくんWi-Fi開設記念	マンガン	大栗芳一	田島寿一
R元.7.3	第4回	9R	日高特別B2(二)	グレートコマンドー	酒井孝敏	村田順一
R元.7.4	第4回	9R	川崎のSPAT4プレミアムポイント賞	ベルサーリオ	伊達泰明	林隆之
R元.7.5	第4回	12R	天の川特別C1(一)	トワイライトスカイ	吉岡泰恵	加藤誠一
R元.7.18	第5回	7R	かに座特別C1(二)	カラドゥラ	田原恭男	内田勝義
R元.7.18	第5回	12R	雷光(らいこう)賞C2 選定馬	ヨツパヒメ	川島伸二	林隆之
R元.7.19	第5回	4R	ゴールデンルーキー賞2歳(一)	マンガン	大栗芳一	田島寿一
R元.7.19	第5回	5R	薊(あざみ)特別3歳(一)	コスモルシオ	(有)武田興業	鈴木義久
R元.7.19	第5回	10R	みうらレンタサイクル特別B3(二)	アーリーサプライズ	(株)レックス	内田勝義

R元.7.19	第5回	11R	三浦すいか特別B2(二)B3(一)	ウインメディウム	(株)ウイン	河津裕昭
R元.7.19	第5回	12R	みうら夜市特別C2(一)	ブルベアダイズ	乙訓 史樹	鈴木義久
R元.7.22	第5回	10R	ねぶくろシネマ開催記念B3(三)	カガヤクスマイル	三河辰巳	田邊陽一
R元.7.22	第5回	12R	夏休み特別C1(一)	ウインブロンクス	(同)JPN 技研	高月賢一
R元.8.2	第6回	6R	シャイニングフューチャー賞	トキノカナエル	田中準市	八木正喜
R元.8.2	第6回	10R	8/18は愛川町でサンパ! 勤労祭カップ	シカゴジャズ	星野隆男	内田勝義
R元.8.2	第6回	11R	水が育む愛の町愛川町サマーカップ	プースター	三浦直哉	佐藤博紀
R元.8.2	第6回	12R	宮ヶ瀬ダムナイト放流記念C2(一)	トゥンパドロー	竹下浩一	山崎裕也
R元.8.5	第6回	12R	やまなみ五湖「宮ヶ瀬湖」杯C1(二)	セイクルーガー	金田成基	平田正一
R元.8.6	第6回	7R	胡蝶蘭特別3歳(一)	ベニノマーメイド	(株)紅谷	田島寿一
R元.8.6	第6回	9R	獅子座(ししざ)特別C1(一)	パーキー	(株)ニッシン	林隆之
R元.8.6	第6回	10R	蟬時雨(せみしぐれ)賞B1B2	ジルズパレス	吉田和美	内田勝義
R元.8.21	第7回	11R	葉月(はづき)特別A2B1	カジノシップ	窪田康志	山崎尋美
R元.8.22	第7回	5R	向日葵(ひまわり)特別3歳(一)	グランヴァニョ	犬塚悠治郎	山崎裕也
R元.8.22	第7回	12R	立秋(りっしゅう)特別C1(二)	ベニノマーメイド	(株)紅谷	田島寿一
R元.8.23	第7回	10R	名水はだの富士見の湯賞B3(二)	メイショウザイル	松本好雄	今井 輝和
R元.8.23	第7回	11R	第72回 秦野たばこ祭記念	ピースフルエンゼル	北嶋義三	河津裕昭
R元.9.3	第8回	8R	セブテンバーフラワー賞3歳	タイセイチーフ	(有)オト・I-S	佐々木仁
R元.9.3	第8回	9R	宅建協会川崎南支部青年部会杯2019	カラドゥラ	田原恭男	内田勝義
R元.9.4	第8回	8R	サファイアフラワー賞3歳	シャイニングアカリ	伊藤享	佐々木仁
R元.9.4	第8回	10R	幻の八幡平パイレット発売記念	シカゴジャズ	星野隆男	内田勝義
R元.9.4	第8回	12R	(株)よみうりランド創立記念杯	エクセレンワールド	上田秀二	山田質
R元.9.5	第8回	6R	鳳仙花特別3歳(一)	ミツカネコマンドー	小山田満	加藤誠一
R元.9.6	第8回	12R	JAZZ JACK DAY! 記念	パトルオサンナ	(同)JPN 技研	高月賢一

益々のご活躍をお祈りいたします！



9月3日に開業初出走した新井健児調教師。初陣の相棒デニールで2戦目の浦和戦で見事初勝利をあげた。「緒戦2着だったあとの変わり身がものすごくあったのでオーナーに相談して連闘で浦和へと臨みました。3コーナーではそのまま逃げ切れるだろうと勝ちが見えたら、一瞬頭が真っ白(笑)。6月に4馬房をもらってから予定通りにいかず、慌てずやっという考えを切り替えたところだったので本当に嬉しくて」と喜びで思わずパンザイが飛び出した初勝利の瞬間。勝利の夜にはひとりで祝杯をあげたという。

大阪府東大阪市出身で、花園ラグビー場の近くで育った。中学校のグラウンドにゴールポストがあったというラグビーの本場だからこそ。ラグビーW杯では日本の活躍に胸を熱くしている真っ最中だ。競馬との運命的な出会いは1996年の菊花賞。10歳違いの兄が見ていた競馬番組で目にしたダンスインザダークの強烈な追い込みにしびれた。当時は16歳。一瞬にして競馬の魅力に惹きつけられてしまった。「馬はあんなに一生懸命走るんだと感動して、今でもレースぶりが思い出せるくらい。定時制高校に通っていたんですが、アルバイト先に競馬好きもいてどんどんファンになっていきました」。夏休みになれば北海道の牧場を巡るほど馬が好きになり、20歳の時に日高ファームに就職。馬の触り方、乗り方をイチから教わった。「当時の斎藤場長は馬だけでなく人としても尊敬できる存在で、社会人としての勉強もさせてもらいました。機会をつくって調教師になったことを報告できたと思っています」と今の仕事のベースになっているという。



しかし、牧場生活も3年が過ぎるとより実戦に近い仕事をしたくなり、職安で探すと川崎の田島寿一厩舎の求人を見つけて飛び込んだ。田島厩舎で出会った忘れられない一頭がフレッシュメイト。入厩から5年間、オーナー変更で手元を離れるまで担当した。「来た頃はササる面があつて調教でも乗り難しかったし、球節の骨折に泣いたこともありましたが、9勝して苦勞も喜びも教えてくれた馬です」と様々なシーンがよみがえる。

厩務員として10年になった頃考えた。「この先10年後を考えたときに自分はこのまま厩務員でいるだろうか、続けていくことはできるだろうけどそれで自分が納得できるだろうか」。悩んで出した答えは調教師を目指すことだった。まずは調教師補佐として学ぼうと2度目の試験で合格。5年間、田島調教師の右腕となって支えたあとに調教師試験に挑戦。2度目のチャレンジで2018年12月1日付で調教師免許を手にした。



開業が認められ馬房が割り当てられたのが6月。そこから初出走までは時間が掛かったが、そのぶん学んだことも多かった。

「田島先生と行った牧場で馬の胃潰瘍の話聞いたことがあったんですが、獣医師による講演会でも胃潰瘍の話が出て競走馬の7割くらいには程度の差はあれ胃潰瘍があるそう。どれだけ食ってどれだけ動いてどう肉が付いたかを見ればその胃潰瘍レベルが

わかるようになると言います。ストレスだけでなくカイバの付け方も影響するので与える回数を細かく分けたり、朝の運動前にルーサンを与えるようにして胃潰瘍対策を取り入れています」。厩舎初勝利馬となったデニールはこの効果もあって馬に変化が見られたという。胃の中が空っぽの状態だと胃液が飛び散って胃潰瘍の原因になるが、ルーサンの草のカルシウムが胃の中に粘膜を貼ることで防ぐことができるというのだ。

インタビューの朝にも一頭が入厩してきた。まだ馬房は少ないながらも宮内厩務員と二人三脚で切り盛りしている。「今は大きな目標を掲げるのではなく、一頭一頭大事にしていくこと。そして厩務員がのびのびと働ける環境を作っていきたい」と、まだ厩舎のベース作りが始まったばかり。諦めることなくひとつひとつ壁を乗り越えて築いていく土台。そこにはいつか大きな花が咲く日が来るだろう。



(文 中川 明美)

### 「トキノパイレーツ」号初重賞制覇

当協会総務委員長である田中準市(以下、「準市理事」と言う。)氏所有の「トキノパイレーツ」号が、令和元年8月22日川崎競馬第11レース「スパーキングサマーカップ(SIII)」競走で、その秘めた強さを発揮し、見事に優勝を飾りました。同馬は、JRA8戦2勝の成績で、「ユニコーンステークス」競走での激走の手応えもあり、準市理事は、「川崎競馬の重賞を獲りたい。」との思いから、「戸塚記念(SI)」競走制覇を目指し、タイトなスケジュールの中、川崎競馬場に移籍することを決断されました。移籍後、「トキノパイレーツ」号は、順調にステップ競走を勝ち、「戸塚記念」競走にエントリーしました。競走当日、南関東ファンの前に、初めてその雄姿を見せ、単勝1番人気に推される中、我々協会関係者は、満面の笑顔でお立ち台に立つ準市理事を思い描きながら競走を見守りましたが、2馬身差の2着と言う結果に、役員観覧席は、静まり返りました。その後「トキノパイレーツ」号は、善戦するものの、中々重賞

競走制覇に手が届かずにいましたが、丈夫な馬で、休まず一生懸命に競走を走る同馬にエールを送り続けました。「スパーキングサマーカップ」競走当日、協会に来られた準市理事は、ポツリと「これ以上ない仕上がりがいい。」と言われました。準市理事は、常にスタッフを信頼し、コミュニケーションを大切にすることで、スタッフから愛馬の状態をつぶさに報告を受け、ご自身の気持ちを落ち着かせようとしていました。いよいよ発走、スタートは素晴らしく、先頭に付けたまま、第4コーナーで2番手、直線に向き、町田直希騎手のステッキに俊敏に反応した「トキノパイレーツ」号は、ギアを上げ、そのままゴールを駆け抜けました。気の早い私は「おめでとうございます。準市理事、次はどこを狙いますか。」準市理事曰く「一度馬体を弛ませて、パイレーツに聞いてから決めます。」とのことでした。同馬のますますの活躍と無事を祈り、私のお祝いの言葉とします。



事務局長 沖村 朋彦

### 令和元年度「馬頭観世音菩薩大祭」並びに「関係物故馬慰霊祭」

令和元年10月8日(火)に「馬頭観世音菩薩大祭」並びに「関係物故愛馬慰霊祭」を執り行いましたので、ご報告します。今回は、馬頭観世音碑が、ファンの方々にもお参りしていただける場所に移設後、初めての法要でしたが、前日からの雨も上がり、秋晴れの下で、現役愛馬達の無事故や競馬事業の成功を祈念するとともに、この1年間で物故した愛馬達のご冥福をお祈りし、供養を行いました。法要後、関係者が参集し、晴れやかな気持ちで直会を和やかにを行い、式を滞りなく済ませることができました。

ご列席いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

事務員(慰霊祭担当) 俵谷 奈苗



### 小向きゅう舎整備計画について

神奈川県川崎競馬組合から、標記計画について、情報を得ましたので、お知らせします。

#### ①きゅう舎馬房エアコン設置について

在きゅう馬を移動させながらの作業で、2020年度には完了するとのこととです。

#### ②小向練習馬場の改修について

本事業は、「強い馬づくり」を推進するため、理事会の決定を経て、担当理事が、調教師会の意見を聞きながら粘り強く要望した事業であり、神奈川県川崎競馬組合が、河川管理者である国交省河川事務所の承認を得て、晴れて実現することとなりました。

本年11月頃着工予定であり、第一期工事として、馬場内にゲート練習が可能な周回馬場及び角馬場を新設します(2020年度3月末完成予定)。第二期工事は、馬場内にふたつの丸馬場、連絡路及びハロー装着場等を整備する工事です(2021年3月末完成予定)。

※なお、台風19号による小向練習馬場冠水の影響で、本工事の着工が遅れる可能性があります。

#### ③小向きゅう舎内整備について

今年度末に、神奈川県川崎競馬組合きゅう舎管理課、調教師会、騎手会、騎手調整室、並びに愛馬会事務所が移転し、新たな管理棟に移ります。

その後は、当協会が、理事会の決定を経て、強く要望したきゅう舎管理舎等の建設が行われる運びとなりました。会員の馬を毎日飼養管理するきゅう舎の生活環境改善を何としても実現させたいという強い思いで、要望しました。

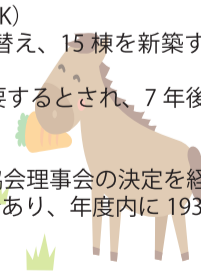
・きゅう舎務員宿舎:150戸(1LDK、2LDK)

・築年数が経過した古いきゅう舎を建て替え、15棟を新築する(完成後622馬房)。

※住居部分に2年、馬房部分に5年を要するとされ、7年後には完成予定とのこととです。

#### ④小向きゅう舎監視カメラの設置について

禁止薬物陽性馬発生防止対策として、当協会理事会の決定を経て、競馬の公正確保を図るため、強く要望した事業であり、年度内に193台の監視カメラが設置される見込みです。



### 令和元年度奨励馬事業について

10月11日現在で、一般馬(2歳新馬)は、残り19頭、JRA3歳転入馬は、残り42頭となっております。

### 川崎在きゅう馬育成施設活用補助制度について

申し込み頭数にまだ余裕があります(残り22頭)。対象馬 3歳から5歳、C1格以上、奨励金を受領している馬は、満了していること(助成金額上限80万円)

### 育成施設 坂路、調教設備の整った施設

※申請のありました馬、施設は、共済委員会審査します。

### ・高額奨励馬について

2019年度当選された方で、セリで競走馬を購入された方は、令和元年11月30日までに関係書類を提出して頂くようお願いいたします。

事務員(奨励馬担当) 加藤 佳子

### 新会員紹介

\*敬称略

7月	小川 寛子	石川県
	山口 敦広	大阪府
	松田 幸生	東京都
	深野 壘	神奈川県
8月	片岡 純也	岡山県
	大島 広宣	兵庫県
	由井 健太郎	東京都
	(同) 雅苑興業	兵庫県
9月	高樽 秀夫	北海道
	高樽 さゆり	北海道
	岡 浩二	大阪府
	三橋 慶太	北海道
	保坂 和孝	シンガポール
	(株)心頼 LooP	茨城県
10月	山本 宏臣	広島県
	北嶋 佳和	北海道
	佐野 研二	東京都
	(有)加野牧場	北海道
	橋本 全弘	東京都
	熊木 浩	東京都
	川崎 賢二	岐阜県
	田中 俊平	東京都
	矢部 美穂	東京都
	松谷 翔太	東京都
	今中 俊平	東京都
	(有)内田スーパール	北海道

### 一般社団法人 神奈川県馬主協会

電話: 044-246-5050 FAX: 044-245-8090

会報編集担当: 粕谷 知美